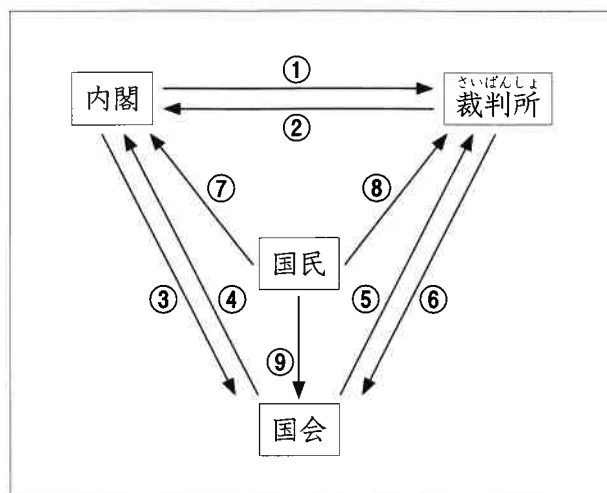


- 1 2020年8月、安倍晋三氏は内閣総理大臣（首相）を辞任することを発表し、9月には菅義偉氏が新たな首相に選ばれました。日本の政治のしくみについて、下の図1を参考にして、あとの問いに答えなさい。

図1



(1) 首相の選び方について述べたものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 国会議員の中で選挙を行い、多数の票を得た上位2人の人物について、国民全員による選挙で決める。
- イ それまでの内閣が、次の首相になってほしい人物を広く国民の中から選んで指名して、国会で承認を得ることによって決める。
- ウ 各政党が、国会議員の中から首相になってほしい人物をそれぞれ推薦し、それらの人物について、国民全員による選挙で決める。
- エ 国会議員の中で選挙を行い、最も多数の票を得た人物が国会で指名される。

(2) 内閣の仕事について述べた次のア～キから、まちがっているものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 国会の召集を決める
- イ 法律を制定する
- ウ 最高裁判所の長官を指名する
- エ 憲法改正を国民に提案する
- オ 外国との条約を結ぶ
- カ 法律が憲法に違反していないか審査する
- キ 予算案を国会に提出する

(3) 国民と内閣、国会、裁判所の関係について述べた次のA～Eは、図1の①～⑨の矢印のどれにあてはまるか、A～Eと①～⑨の正しい組み合わせを、次のア～カから一つ選び、記号で答えなさい。

- A

ふさわしい人物かどうか審査する
- B

やめさせたい人物について裁判を行う
- C

政治の内容が憲法に違反していないか審査する
- D

不信任を決議する
- E

解散させる

- ア

A＝⑧、B＝①、C＝⑦、D＝④、E＝⑨
- イ

A＝⑦、B＝⑥、C＝①、D＝④、E＝⑤
- ウ

A＝⑧、B＝⑤、C＝⑦、D＝⑥、E＝③
- エ

A＝⑦、B＝①、C＝④、D＝⑥、E＝⑤
- オ

A＝⑧、B＝⑥、C＝①、D＝④、E＝③
- カ

A＝⑦、B＝⑤、C＝④、D＝⑥、E＝⑨

(4) 首相をやめた安倍氏は、在任中に日本国憲法の改正を実現したいと述べていました。現在の日本国憲法で定められていることについて述べた次のア～エから、まちがっているものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア

国の政治のあり方を最終的に決めるのは国民である。国民が政治のあり方についての考えを示す権利の一つが、選挙権である。
- イ

天皇は「日本国の代表」とされているが、国の政治についての権限は一部に限られる。憲法で定められた国政の仕事のなかから自ら選んで行うことができる。
- ウ

だれもが人間らしく生きる権利を、生まれたときから持っているとして、すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利があると定められている。
- エ

悲惨な戦争を二度と繰り返さないという強い決意のもとに、けっして自分たちから戦争はしないが、外国から攻撃を受けた時のために、一定の戦力は持ってよいと定められている。

(5) 図1のように、国会、内閣、裁判所が国の重要な役割を分担していることをなんというか、漢字4字で答えなさい。

2 日本列島は南北に長くさまざまな地形が見られるため、地域によって自然環境がちがっています。そのため、地域の自然環境をいかした農作物の生産がさかんです。次のA～Cの都市がある地域の農業と気候の特色について述べた文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

A市がある日本海側の地域では、冬に北西からふいてくる季節風によって雪のふる日が多くなります。2m近く積もることもある雪は、春になるととけだして、豊かな水と栄養分を土にもたらししてくれます。また、夏はむし暑く、盆地のような地形によって昼と夜の気温差が大きくなるので、あまみのあるおいしい米が育ちます。

B市では、なだらかな斜面に広がる水はけのよい土地と、年間を通じて雨が少なく昼と夜の気温差が大きい気候をいかして、ぶどうの生産がさかんです。いそがしい収穫の時期が重ならないように数種類のぶどうを育てています。市内を通る高速道路を使い、新鮮なぶどうを出荷します。

C市では、夏の降水量が非常に多いですが、森林はあまり見られず、古くから人の手によって草原が保たれています。その広い草原を利用して、あか牛とよばれる肉牛の放牧がさかんです。あか牛は、生後およそ2年間飼育されたあと、主に県内や九州の各地へ出荷されます。

(1) A～Cの都市がある都道府県は、右の地図の①～⑤のうち、どれにあたるか、その組み合わせを、次のア～カから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア

A＝①、B＝③、C＝④
- イ

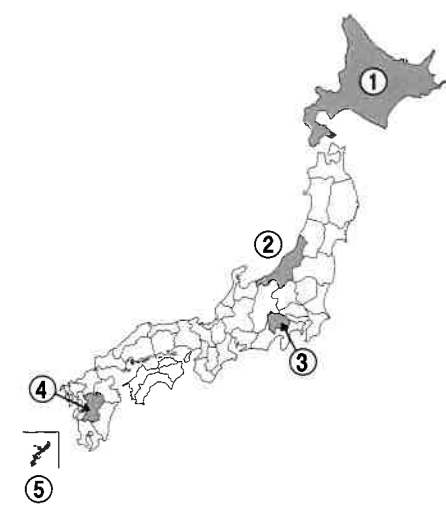
A＝②、B＝④、C＝⑤
- ウ

A＝①、B＝⑤、C＝③
- エ

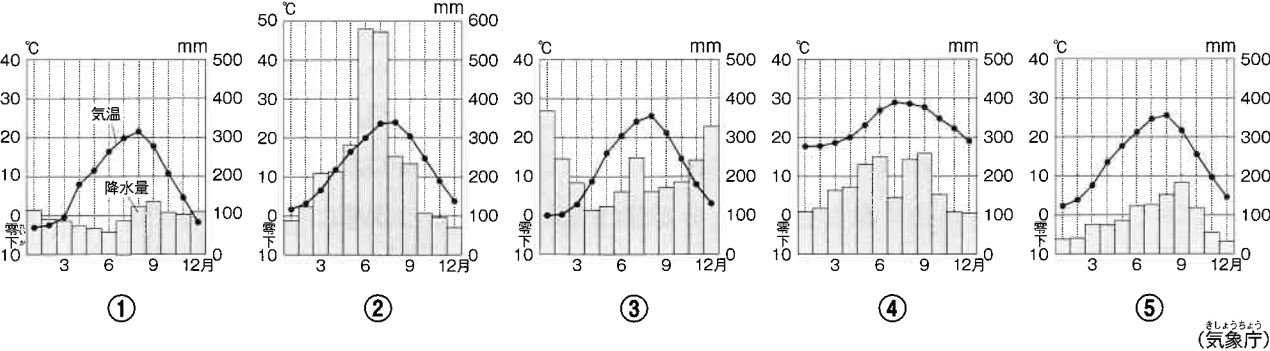
A＝②、B＝③、C＝④
- オ

A＝①、B＝④、C＝⑤
- カ

A＝②、B＝⑤、C＝③

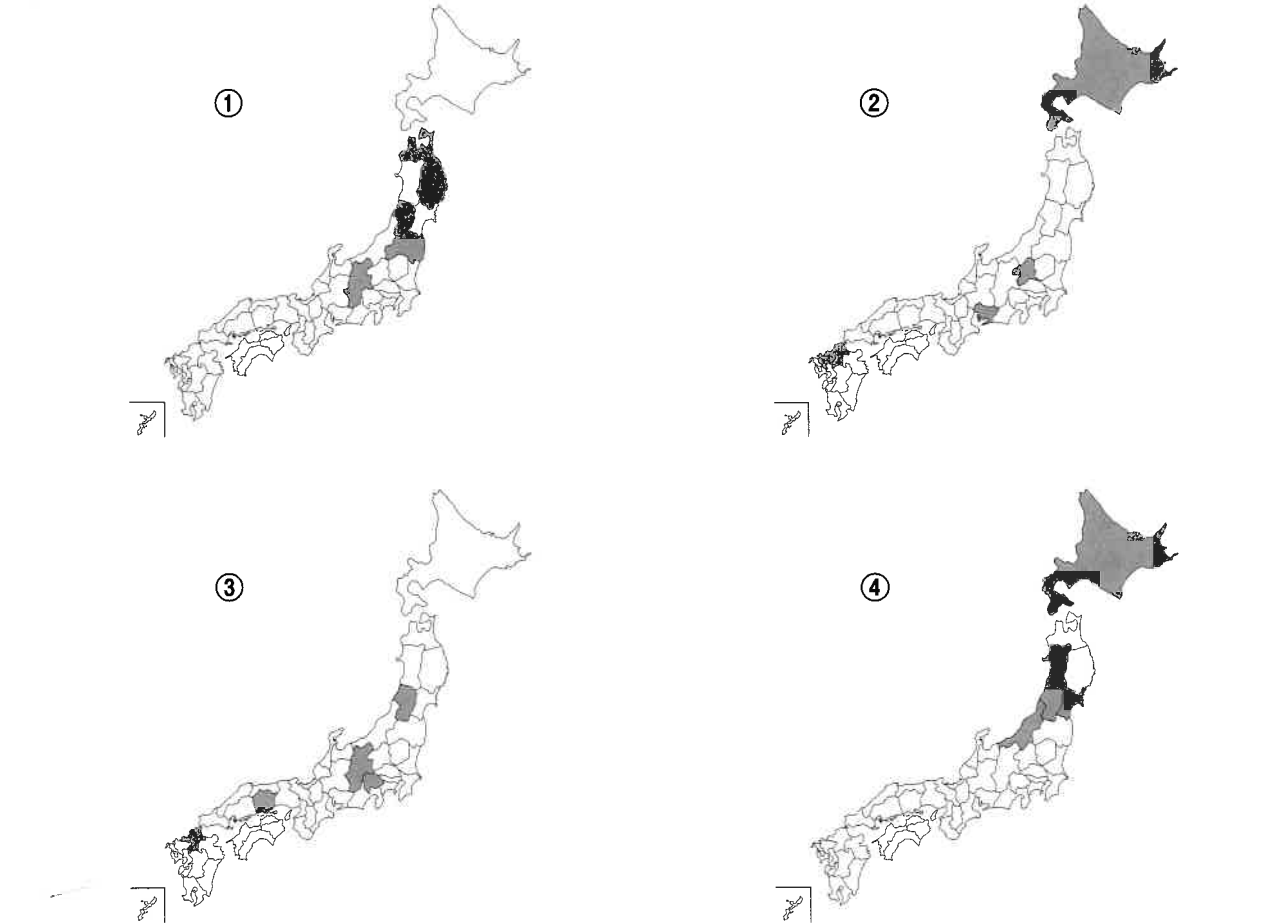


(2) A～Cの都市の雨温図は、次の①～⑤のうち、どれにあたるか、その組み合わせを、あとのア～カから一つ選び、記号で答えなさい。



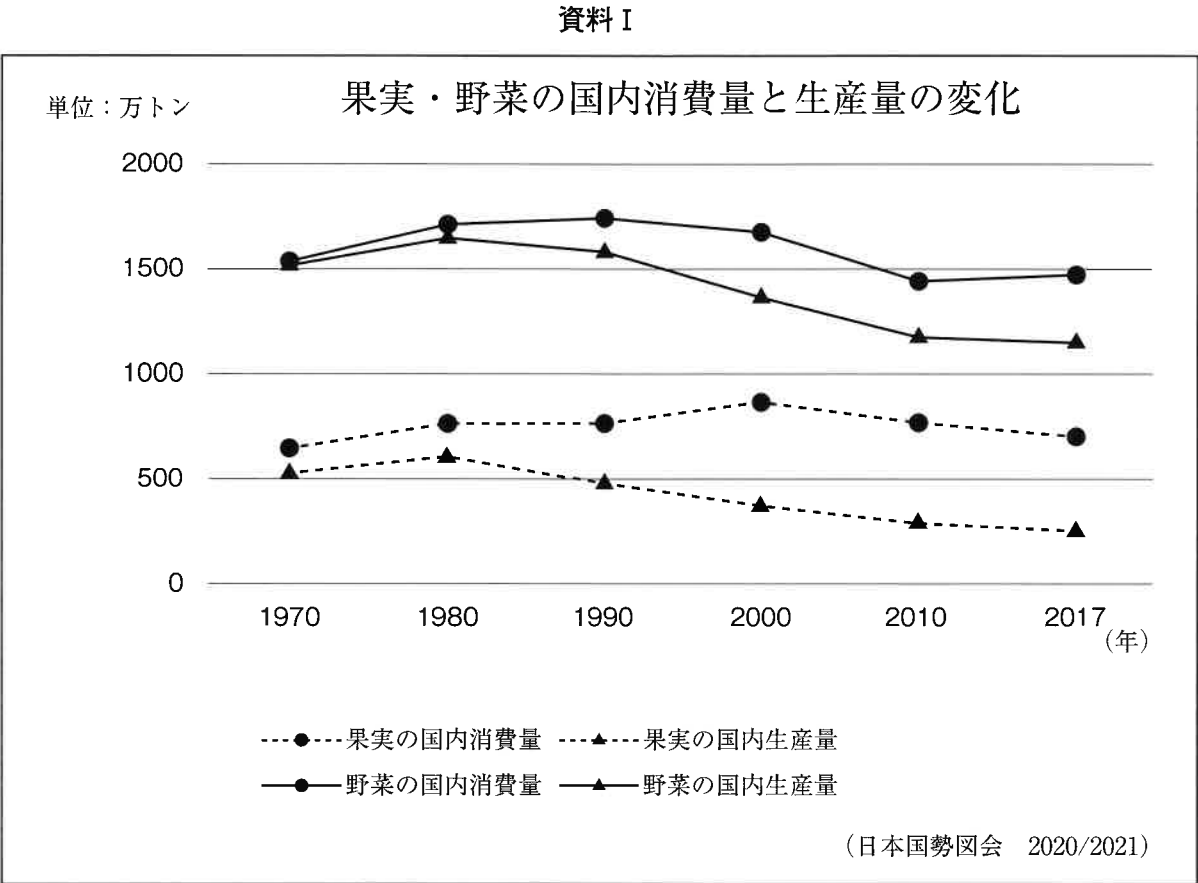
- ア A=②, B=④, C=①  
 ウ A=②, B=⑤, C=①  
 オ A=③, B=⑤, C=②
- イ A=②, B=④, C=③  
 エ A=③, B=④, C=②  
 カ A=③, B=⑤, C=①

(3) 次の①～④の日本地図は、小麦・米・りんご・ぶどうの生産量または収穫量の上位5都道府県をぬりつぶしたものである。米、ぶどうにあたるものの組み合わせを、あとのア～カから一つ選び、記号で答えなさい。



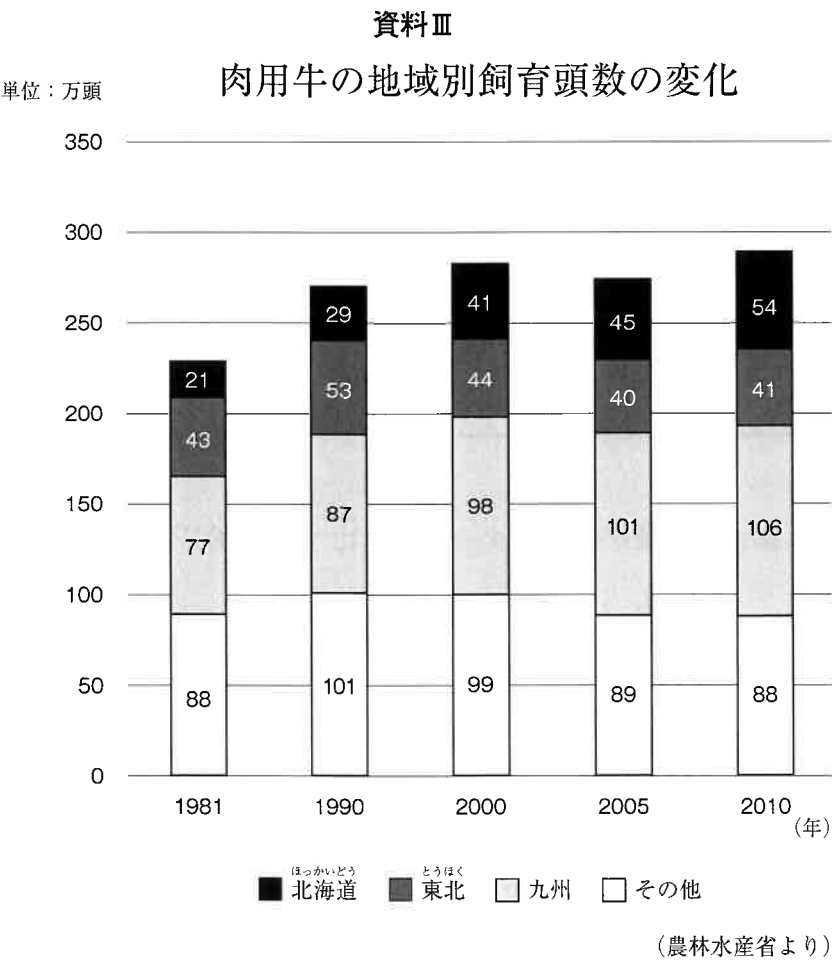
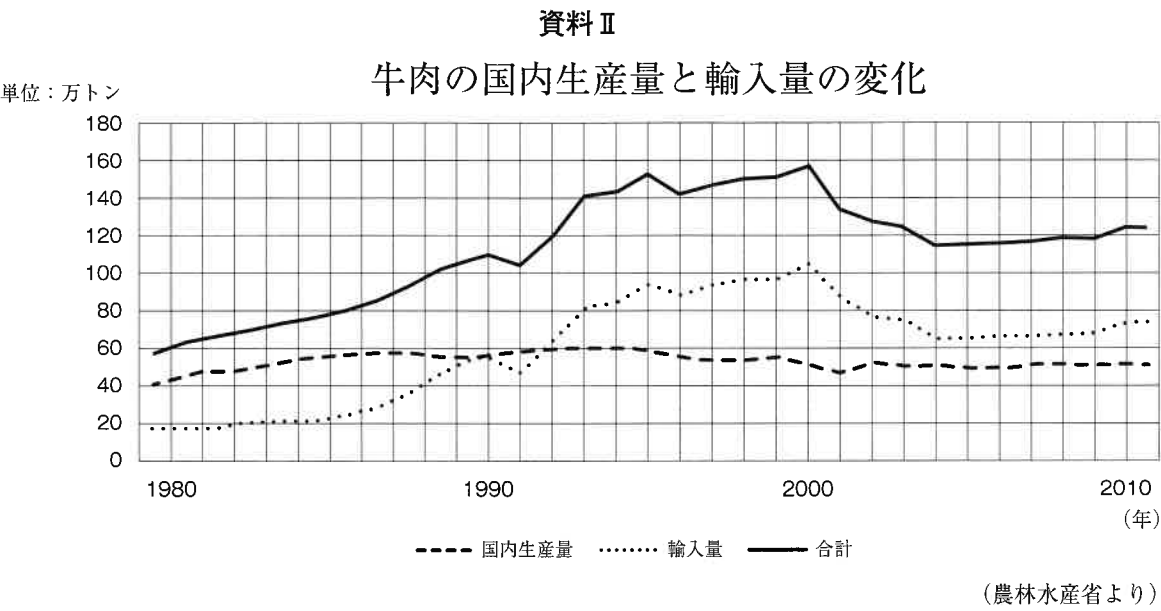
- ア 米=①, ぶどう=②      イ 米=②, ぶどう=④  
 ウ 米=④, ぶどう=③      エ 米=①, ぶどう=④  
 オ 米=②, ぶどう=③      カ 米=④, ぶどう=②

(4) B市のように果実の生産がさかんな地域に関連して、資料Ⅰは果実と野菜の国内消費量と生産量の変化について示したものです。資料Ⅰを正しく読み取ったものを、あとのア～オから一つ選び、記号で答えなさい。



- ア 果実も野菜も国内生産量が最も多かった年に比べて、2017年の国内生産量は半分ほどに減少している。
- イ 果実も野菜も、1970年と2017年の時点を比べると、国内消費量と国内生産量の差が大きくなっている。
- ウ 1980年から2017年にかけて果実の国内生産量は減少しているが、果実の国内消費量は増加しつづけている。
- エ 1990年から2010年にかけて果実も野菜も国内生産量は400万トン程度減少している。
- オ 2010年における国内消費量と国内生産量の差は果実よりも野菜の方が大きい。

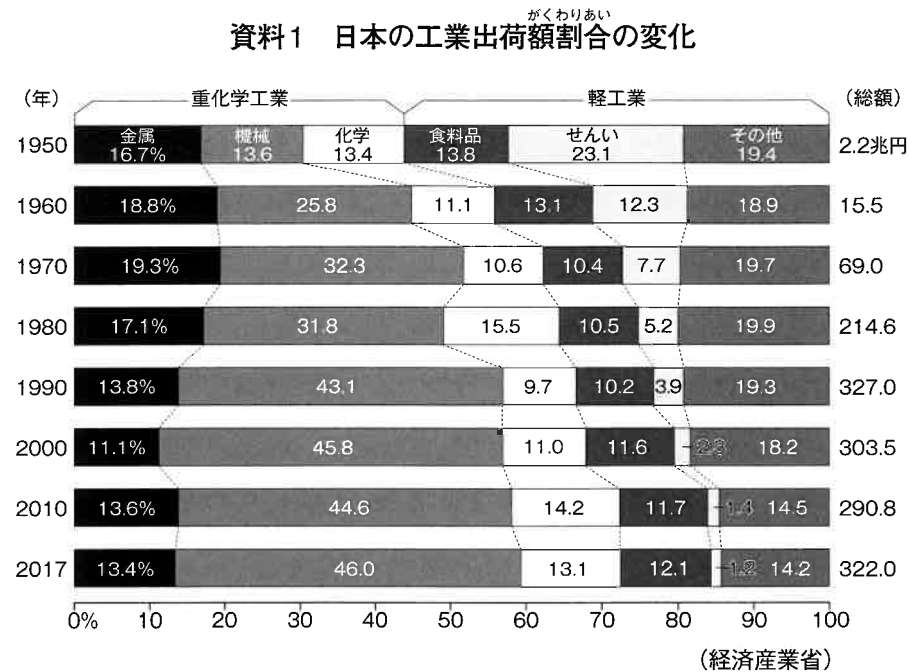
(5) C市のように肉牛の飼育がさかんな地域に関連して、資料Ⅱは、牛肉の国内生産量と輸入量の変化、資料Ⅲは、肉牛の地域別飼育頭数の変化についてそれぞれ示したものです。資料Ⅱ～Ⅲを正しく読み取っているものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。



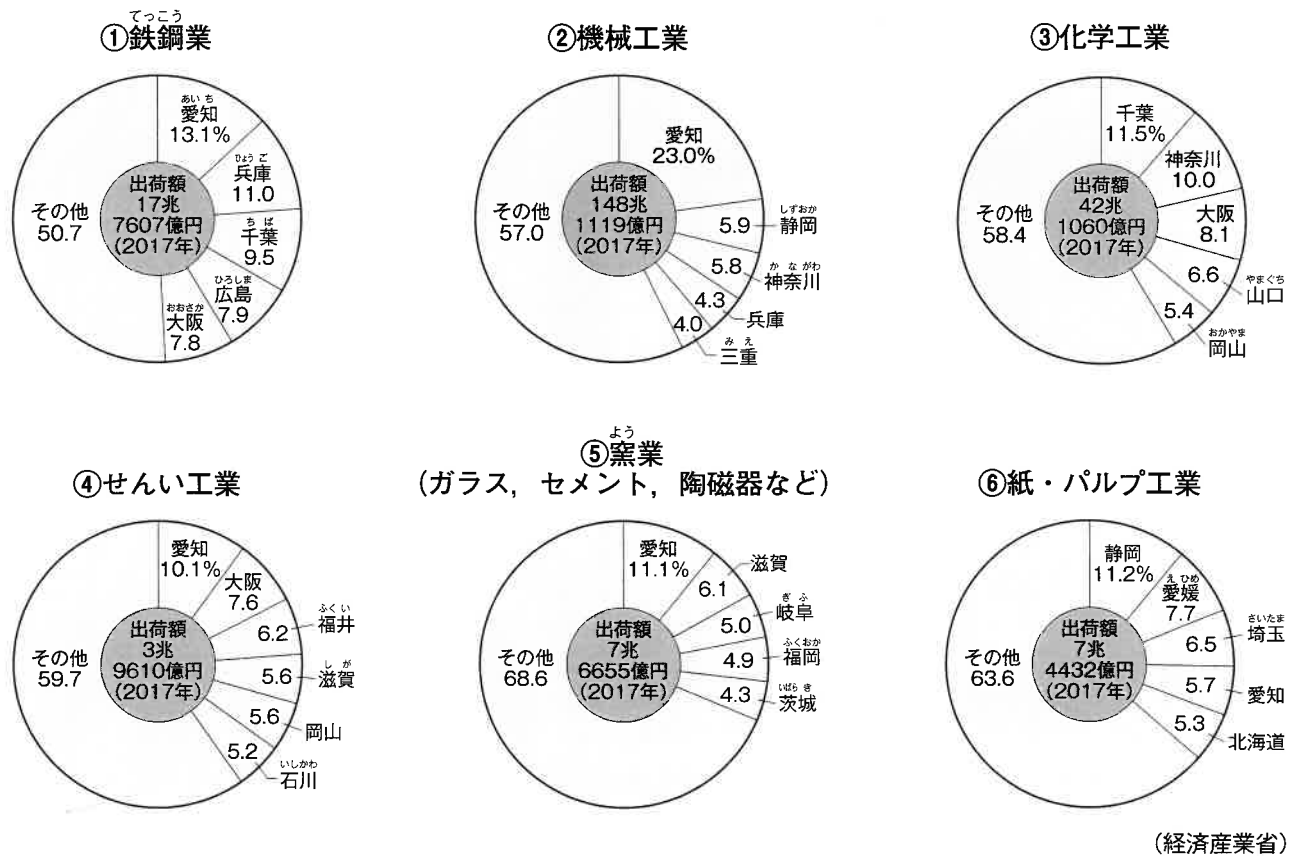
- ア 資料Ⅱをみると、1990年から2000年にかけて牛肉の輸入量は2倍以上になったが、資料Ⅲをみると、同じ時期、全国の肉牛の地域別飼育頭数は減少している。
- イ 資料Ⅱをみると、2000年以降、牛肉の国内生産量と輸入量の合計は120万トンを常に上回っており、資料Ⅲをみると、その間、九州地方における肉牛の地域別飼育頭数は増加し続けている。
- ウ 資料Ⅱをみると、1990年と2010年における牛肉の国内生産量に大きなちがいは見られないが、資料Ⅲをみると、東北地方においては、1990年の時に比べて2010年の肉牛の地域別飼育頭数は減少している。
- エ 資料Ⅱをみると、1980年の時に比べて2010年の牛肉の国内生産と輸入量の合計は3倍ほどに増加しており、資料Ⅲをみると、北海道でも同様に1981年時点に比べ2010年の肉牛の地域別飼育頭数は2倍以上に増加している。

3 日本の工業と貿易について、次の資料1～5を見て、あとの問いに答えなさい。

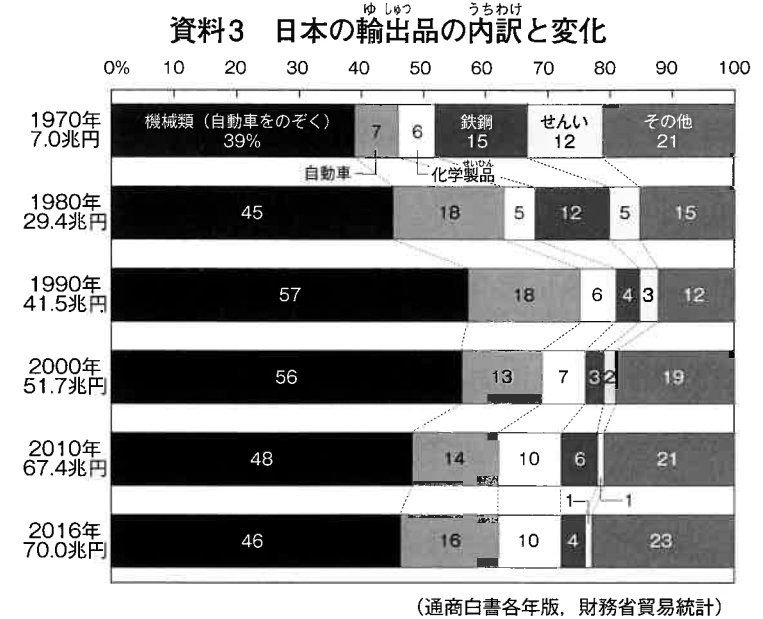
資料1 日本の工業出荷額割合の変化



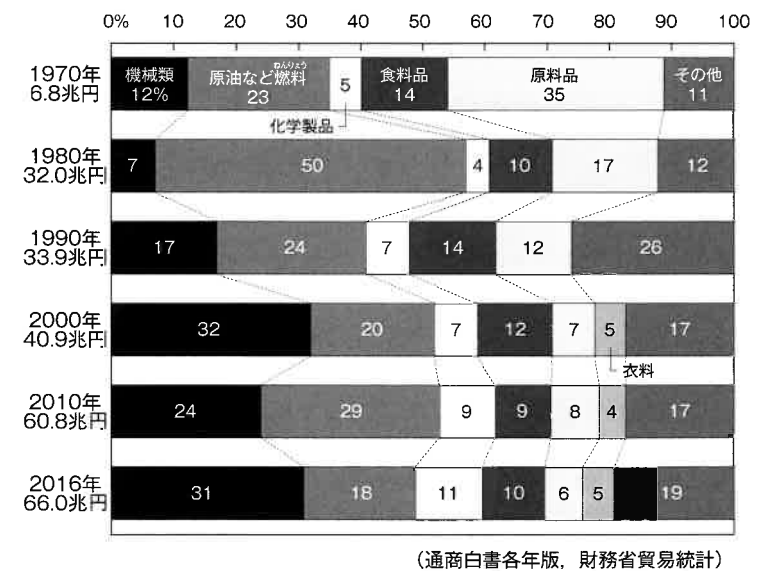
資料2 各工業の道府県別出荷額割合



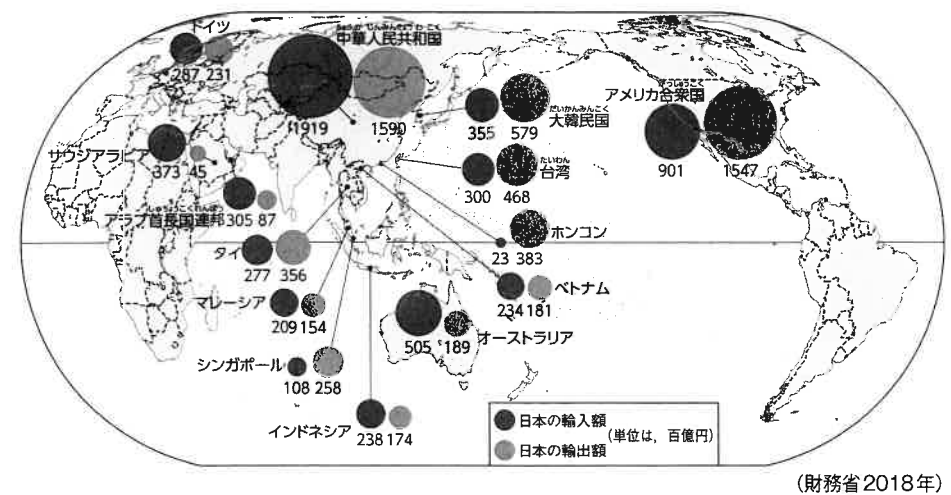
資料3 日本の輸出品の内訳と変化



資料4 日本の輸入品の内訳と変化



資料5 日本の主な貿易相手先



(1) **資料 1** は日本の工業出荷額割合の変化を示したものです。これについて、次の**ア～エ**から正しいものを**すべて**選び、記号で答えなさい。

**ア** 1950年から2017年まで、工業出荷額の総額は、ずっと増え続けている。

**イ** 機械工業の割合は、1950年から2017年まで常に最も大きく、また、総額に対する割合も大きくなり続けている。

**ウ** 金属工業の割合は、1970年に比べて、2017年のほうが割合は小さくなっているが、金額でみると増えている。

**エ** 軽工業全体の割合は、1950年では全体の半分をこえていたが、1960年には半分を下回り、2000年には、全体の3割を下回るようになった。

(2) **資料 2** の①～⑥は、日本の主な工業の道府県別出荷額割合の上位5道府県を示したものです。これについて、次の**ア～エ**から正しいものを**すべて**選び、記号で答えなさい。

**ア** ①～⑥のどの工業でも、愛知県が上位5府県には入っている。

**イ** ①～⑥のどの工業でも、上位5道府県はいずれも海に面していて、大きな船が出入りできる港がある。

**ウ** ①～③の工業では、上位5道府県はいずれも工業のさかんな「太平洋ベルト」にふくまれる。

**エ** ④～⑥の工業では、それぞれの上位5道府県は、北海道をのぞいて、本州にある府県ばかりである。

(3) **資料 3** は日本の輸出品の内訳と変化を示したものです。これについて、次の**ア～エ**から正しいものを**すべて**選び、記号で答えなさい。

**ア** 輸出品の総額は、1970年から2016年まで増え続け、約10倍に増えた。

**イ** 機械類（自動車をのぞく）の割合は、1990年と2010年を比べると2010年の方が小さく、金額では2010年の方が大きくなっている。

**ウ** 自動車の割合は、1980年と2016年を比べると2016年の方が小さく、金額も小さい。

**エ** 鉄鋼の割合は、1970年と2016年を比べると2016年の方が小さく、金額も小さい。

(4) **資料 4** は日本の輸入品の内訳と変化を示したものです。これについて、次の**ア～エ**から正しいものを**すべて**選び、記号で答えなさい。

**ア** 輸入品の総額は、1970年と1990年で比べると約5倍に増え、1990年から2016年では約2倍以上に増えている。

**イ** 1980年以降、その割合が大きくなり続けているのは化学製品だけであり、また、小さくなり続けているのは原料品だけである。

**ウ** 原油など燃料については、1980年にはその割合が半分をしめていたが、2016年には18%まで小さくなり、金額も減った。

**エ** 食料品の割合は、1980年と2016年ではいずれも10%であるが、金額では2倍以上に増えている。

(5) **資料 5** は日本の主な貿易相手先を示したものです。これについて、次の**ア～エ**から正しいものを**すべて**選び、記号で答えなさい。

**ア** 日本の輸入額と輸出額がそれぞれ大きい順に5番目までをあげてみると、どちらにも同じ国・地域があげられる。

**イ** 大韓民国、台湾、ホンコンへの輸出額を合計すると、中華人民共和国への輸出額をこえる。

**ウ** サウジアラビア、アラブ首長国連邦、インドネシアからの輸入額を合計すると、アメリカ合衆国からの輸入額をこえる。

**エ** 日本からの輸出額が輸入額より大きいのは、地図中の国・地域では7つある。

4 次の資料1～10の写真や絵を見て、あとの問いに答えなさい。

資料1 <sup>とうだいじ だいぶつ</sup>  
東大寺の大仏



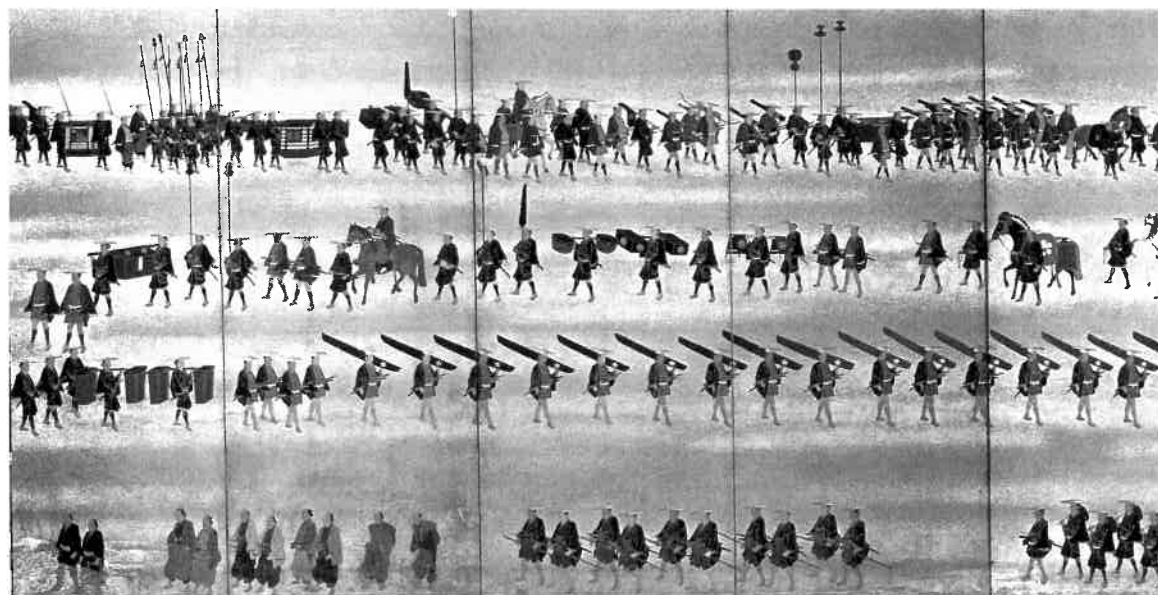
資料2 <sup>げんじ ものがたり え まき</sup>  
源氏物語絵巻



資料3 <sup>なんばん びょうぶ</sup>  
南蛮貿易のようすをえがいた屏風



資料4 <sup>だいみょうぎょうれつ</sup>  
大名行列のようすをえがいた屏風



資料5 <sup>きょうと きんかく</sup>  
京都の金閣



資料6 <sup>ぶ</sup>  
絵踏みのようすをえがいた絵



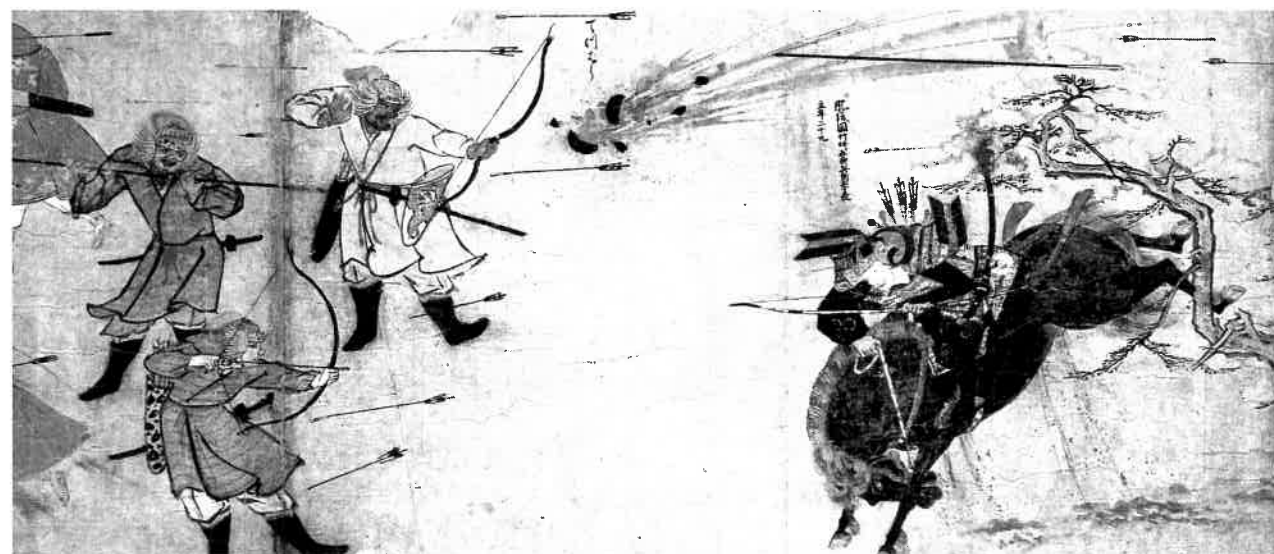
資料7 <sup>ちょうせんつうしん し</sup>  
朝鮮通信使の行列をえがいた屏風



資料8 <sup>びわ</sup>  
琵琶とガラスのコップ



資料9 <sup>もうこしゅうらい え ことば</sup>  
蒙古襲来絵詞



資料10 平治の乱のようすをえがいた絵巻



(1) 資料1と6を見て、日本に伝えられた宗教について述べた次のア～エから、正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア 資料1がつくられたころ、聖徳太子は、大仏をつくる命令を出して、全国から集められた農民や、すぐれた技術をもつ渡来人たちが大仏づくりに活やくした。

イ 資料1がつくられたころ、聖武天皇は、仏教の力で社会の不安をしずめて国を治めようと、国ごとに国分寺、都には東大寺を建てることを命じた。

ウ 資料6について、外国の貿易船に乗ってきた宣教師たちにより、国内にキリスト教の信者が増えていくと、江戸幕府は信者たちが幕府の命令に従わなくなることを心配して、キリスト教を国の正式な宗教として認め、信者を保護するようになった。

エ 資料6について、徳川家光は、九州の島原（長崎県）や天草（熊本県）で、キリスト教信者を中心に重い年貢に反対する一揆が起こると、大軍を送ってそれをおさえた。また、信者を見つけて処分するなど取りしまりをきびしくした。

(2) 資料2と10を見て、貴族が栄えていた時代から、武士の登場によって時代がうつり変わっていくようすを述べた次のア～エから、正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア 資料2は貴族が栄えていた時代のようなようすをえがいたもので、このころ、朝廷の政治を有力な貴族が動かすようになり、中でも中臣鎌足の子孫である藤原氏は、むすめを天皇のきさきにして天皇とのつながりを強くして大きな力を持つようになった。

イ 資料2は貴族が栄えていた時代のようなようすをえがいたもので、天皇のきさきだった藤原道長のむすめの教育係として仕えた清少納言は「源氏物語」というすぐれた書物を書きのこした。さらにこの時代には貴族の生活ぶりをえがいた大和絵やかな文字を用いた和歌や書においてすぐれた日本風の文化が生まれた。

ウ 資料10は武士が力をつけてきた時代のもので、武士は一族のかしらを中心に武士団をつくり、そうした武士団の中でも源氏と平氏は朝廷の命令で地方の反乱をおさめるなどして、源氏は朝廷の守りを任され西国（西日本）、平氏は地方の武士たちの力をあつめて東国（東日本）に勢力をのばしていった。

エ 資料10は武士が力をつけてきた時代のもので、平清盛を中心とした平氏が、源氏をおさえ、貴族の藤原氏にかわって政治を行うようになると、清盛は、むすめを天皇のきさきとし、生まれた子を天皇に立てて、朝廷の中でも強い力をもつようになった。

(3) 資料4と5を見て、当時の幕府はどのようにして力を強め、政治を安定させていったのかについて述べた次のア～オから、正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア 資料4のころの幕府をひらいた徳川家康は、全国の大名を、徳川家の親せきの親藩、古くからの徳川家の家来を譜代、関ヶ原の戦い以降に徳川家に従った外様に分け、その配置をくふうした。

イ 資料4のころの幕府をひらいた徳川家康と2代目将軍の秀忠は、御成敗式目というきまりを定め、全国の大名たちを取りしまった。このきまりに反したなどの理由により、全国の多くの大名が取りつぶされ、将軍の力は強まった。

ウ 資料4のころの幕府で徳川家光が将軍の時、大名が行列を組んで領地と江戸との間を行き来する制度が整えられ、1年おきに江戸のやしきに住まわされ、大名の妻と子どもは江戸のやしきでくらすことが義務づけられた。

エ 資料5のころの幕府で足利義満が将軍の時、中国（明）との国交を開き、貿易をはじめたことで大きな利益を得た。力をつけてきた大名たちをおさえて、将軍の権威を高めていった。

オ 資料5のころの幕府をひらいた足利尊氏は、武士と百姓・町人（商人や職人）という身分を区別し、武士と町人は城下町に住まわせ、百姓は農業や林業、漁業に専念させるようにした。

(4) 資料2と5を見て、当時の建物がたてられたころのようすを述べた次のア～エから、正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア 資料2は、貴族が活やくしていたころの、十二単とよばれる宮廷での正装をした女性たちのすがたがえがかれている。

イ 資料2は、貴族が活やくしていたころの、寝殿造という建築様式として知られているやしきで、広い庭や池があり、貴族たちは客をもてなし楽しんでいた。

ウ 資料5は、石や砂を用いて滝や水面を表現する石庭がつくられるようになった頃の建物で、書院造という建築様式として知られている。

エ 資料5は、幕府の力が強く、文化や芸術を積極的に保護していたころに建てられたもので、寺院のふすまにはすみ絵（水墨画）がさかんにえがかれるようになった。

(5) 資料3と9を見て、この絵がえがかれたころの海外の国との交流のようすを述べた次のア～エから、正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア 資料3について、スペインやポルトガルから宣教師や貿易船がやってきてヨーロッパの進んだ文化や品物をもたらしした。フランシスコ・ザビエルは、鹿児島にやってきて、キリスト教の教えを広め、戦国大名の中にもキリスト教を信じる者があらわれた。

イ 資料3について、織田信長は、ヨーロッパから伝えられたキリスト教を保護し、安土（滋賀県）にはキリスト教の学校、京都には教会堂を建ててことを許した。また信長は、大名や商人に朱印状（貿易の許可状）をあたえて外国との貿易を保護した。

ウ 資料9は、アジアからヨーロッパにまたがる広い地域を支配し、朝鮮半島まで従えた大帝国が、日本も従えようと使者を何回も送ってきたころのようすである。この絵には日本の武士が得意の集団戦法で戦うすがたがえがかれている。

エ 資料9は、御家人とよばれる武士たちが恩賞を得るために必死に戦ったすがたをえがいたものである。

(6) 資料7と8を見て、日本と外国との交流ついで述べた次のア～エから、正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア 資料7は、当時の幕府の将軍がかわったときに朝鮮通信使とよばれる使節団が、対馬藩（長崎県）を通して来日するようになったことがえがかれている。

イ 資料7は、当時の幕府の将軍がかわるごとに日本から朝鮮に向けて、朝鮮通信使とよばれる使節団が送られたことがえがかれている。

ウ 資料8は、正倉院に残された宝物の一部であり、このころ中国への使者を通して多くの大陸の文化や品物が日本へもたらされた。

エ 資料8は、厳島神社（広島県）に残された宝物の一部であり、この神社を守り神とした平清盛は、中国との貿易をするため兵庫の港（神戸市）を整えた。

(7) 資料1・2・3・4・5・9を古い順に並べなおしたときに、最も古いものから数えて2番目と5番目にあたるものの組み合わせを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1と4
- イ 3と5
- ウ 2と3
- エ 9と1

5 次の資料A～Cを読んで、あとの問いに答えなさい。

資料A

倭（日本）の国の王は、もとは男性がつとめた。従えていたくにぐにが争いを起こし戦いが続いたので、相談して、邪馬台国の（ a ）という女性を王に立てた。

資料B

昔、ヤマトタケルノミコトという武勇にすぐれた皇子がいました。ヤマトタケルは、天皇の命令を受けて、九州へ行ってクマソをたおし、東日本のエミシをたおしました。

資料C

- 第一条 人の和を第一にしなければなりません。
- 第二条 仏教をあつく信仰しなさい。
- 第三条 天皇の命令は、必ず守りなさい。

(1) 資料Aの空らん（ a ）にあてはまる人物について述べた次のア～エから、正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 政治を安定させるため都を次々と移したので財政が悪化し、人々の不満が高まった。
- イ 家がらではなく、本人の能力によって役人を取り立てるしくみをつくった。
- ウ 中国の政治の制度を手本にして、都から全国へ支配を広げるしくみをつくった。
- エ うらないをして、人々をひきつけるふしぎな力をもっていた。

(2) 資料Bの神話を書かれた書物を、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 風土記
- イ 竹取物語
- ウ 古事記
- エ 万葉集

(3) 資料Cの政治を行う役人の心がまえを示した人物が建てた寺院を、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 竜安寺
- イ 法隆寺
- ウ 唐招提寺
- エ 中尊寺

これで 社会科の問題は終わりです

受験番号

社 会

※印には何も書かないこと

1

| (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
|-----|-----|-----|-----|-----|
|     |     |     |     |     |

※

|  |
|--|
|  |
|--|

2

| (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
|-----|-----|-----|-----|-----|
|     |     |     |     |     |

※

|  |
|--|
|  |
|--|

3

| (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
|-----|-----|-----|-----|-----|
|     |     |     |     |     |

※

|  |
|--|
|  |
|--|

4

| (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
|-----|-----|-----|-----|-----|
|     |     |     |     |     |

5

| (6) | (7) |
|-----|-----|
|     |     |

| (1) | (2) | (3) |
|-----|-----|-----|
|     |     |     |

※

|  |
|--|
|  |
|--|